

創立50周年記念式典

11月15日(土)



エコキャップアートの前で全校記念写真

十一月十五日(土)に創立五十周年記念式典を実施いたしました。新潟市教育委員会の夏目久義教育長をはじめ、多くのご来賓の皆様にご出席いただき、盛会のうちに式典を終えることができました。

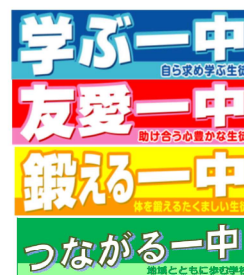
前半の式典に続いて、後半の生徒会企画では、生徒会本部が中心となって制作した二つの作品が披露されました。一つ目は、記念ムービーです。一中の卒業生や白根で活躍されている、五名の方にインタビューし、中学生当時のことや今の中学生に向けてのメッセージを撮影し、上映しました。もうひとつは、全校で制作した、エコキャップアートです。豊約九畳分、ペットボトルキャップ約一万五千個を使用して、五十周年記念ロゴマークをデザインした、巨大アート作品を披露しました。

どちらの作品も、生徒が主体的に取り組んだ、記念式典にふさわしい作品となり、温かい拍手が送られました。

一中短信

第 784 号

令和 7 年 11 月 21 日
新潟市立
白根第一中学校



キャップアート完成披露



生徒会長和田空さん



祝辞を読む夏目教育長



三番まで歌った校歌



生徒代表喜びの言葉

本日は、白根第一中学校創立五十周年という大きな節目を迎え、私たちがこの場に立ち会えることを大変うれしく、また誇りに思います。私たちが毎日楽しく学校生活を送れるのは、これまで白根第一中学校を築いてこられた多くの先輩方、地域の皆様、そして先生方のおかげです。長い年月の中で受け継がれてきた伝統や思いが、今の学校の姿につながっていることを感じます。本当にありがとうございます。

今年度は「前進未到 ～あなたの一歩で繋ぐ架け橋～」の生徒会スローガンを掲げ、五十周年にちなんだ企画を取り入れることを公約として活動してきました。その主な取組のひとつが創立五十周年記念体育祭です。体育祭では、記念種目を設け、地域の方に参加してもらい、フイナールでは「50」の人文字を作って航空写真を撮っていただきました。全校生徒が全力で競い合い、最後には認め合い、たええ合った、歴史に残る体育祭となりました。先月の合唱コンクールにおいても、練習の時から各クラスが指揮者や実

行委員を中心に一生懸命練習に励み、合唱を造り上げました。そして本番では、どのクラスも素晴らしい歌声をラスベックホールいっぱい響かせました。

このように、みんなが学校行事に積極的に取り組むところ、仲間を思いやることができ、学年や男女関係なく仲が良くところ、笑顔があふれ、活発で誰に対しても元気にあいさつができるところが一中の良さだと思います。

他にも、五十周年記念のロゴマークを作成したり、大風合戦の時には、地域の風組の協力を得て、大風をあげたりしました。また、夏の学校運営協議会では「これからの一中を考える会」として、生徒と先生方や地域の方々や話し合い機会を持ち、私たちの意見をもとに、体操着の半袖のデザインが来年度から変更することになりました。これらの取組をとおして、一中は着実に前進してきました。

五十周年という節目は新たな歴史の第一歩でもあります。これからも、私たちが在校生一人ひとりが、仲間を思いやり、努力を惜しまず、夢に向かって進む姿を大切にしていきたいです。また、地域の一員として、地域に貢献し、地域に愛される学校をめざします。そして、後輩たちにはこれまで以上に、みんなが過こしやすい学校、時代に合わせた新しい一中を築いていってほしいと願っています。

本日は、五十周年を迎えることができた喜びと、支えてくださったすべての方々への感謝の気持ちを込めて、生徒代表喜びの言葉といたします。

令和七年十一月十五日

生徒代表 和田 大空

いじめ見逃しゼロスクール集会

二十日（木）に小中連携事業として小学生を招き、「いじめ見逃しゼロスクール集会」を行いました。生徒会本部の生徒が、いじめの場面を想定した劇を演じ、その内容について小中混合の班になって意見を出し合いました。班内では中学生が中心となって、話し合いをリードし、小学生も積極的に話し合い活動に参加しました。また、この日は小中合同の学校運営協議会が行われ、委員の方も劇を参観しました。いじめは決して許されない、ということを小中学校共通で確認しました。



新潟市立白根第一中学校

1年生 89名 2年生 98名 3年生 106名 全校生徒 293名

〒950-1217 新潟市南区白根 407 番地

TEL 025-373-1811 FAX 025-373-1812

E-mail: j602shirone1@city-niigata.ed.jp HP: <http://www.shirone1.city-niigata.ed.jp/>

◎「一中短信」へのご意見・ご感想はいつでもお寄せください。（教頭 佐藤）

